

記入例 未成年者を普通養子とする場合

申立書を提出する裁判所（養子となる者の住所地の家庭裁判所）

作成年月日

収入印紙 円 予納郵便切手 円	受付印 養子縁組許可申立書 (この欄に収入印紙 800 円分を貼ってください。) 印紙 (貼った印紙に押ししないでください。)

準口頭 関連事件番号 平成・令和 年(家) 第 号

○ ○ 家庭裁判所 御中 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日	申立人 [養親となる者] の記名押印	甲山 乙郎 甲山 丙子	(印) (印)
-----------------------------------	--------------------------	----------------	------------

添付書類

(同じ書類は1通で足りません。審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)

申立人(養親となる者)の戸籍謄本(全部事項証明書)

未成年者の戸籍謄本(全部事項証明書)

(未成年者が15歳未満の場合)代諾者の戸籍謄本(全部事項証明書)

申立人	本籍(国籍)	都道府県 市町 番地
	住所	〒 電話 ()
	フリガナ氏名(養父となる者)	昭和 平成 令和 年 月 日生 (歳)
	フリガナ氏名(養母となる者)	昭和 平成 令和 年 月 日生 (歳)
未成年者	本籍(国籍)	都道府県 市町 番地
	住所	〒 電話 ()
	フリガナ氏名(養子となる者)	平成 令和 年 月 日生 (歳)
	職業又は在校名	小学校
養親となる者との関係	※ 養父の...1 おいめい 2 弟妹 3 そのほかの親族 4 被後見人 5 その他 () 養母の...1 おいめい 2 弟妹 3 そのほかの親族 4 被後見人 5 その他 ()	

平日の日に連絡のつく番号を記入してください(携帯電話でも構いません)。

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分には、当てはまる番号を○で囲み、5を選んだ場合には、()内に具体的に記入してください。

申 立 て の 趣 旨	
申 立 人 が 未 成 年 者 を 養 子 と す る こ と の 許 可 を 求 め る。	

申 立 て の 理 由										
縁組をしようとする事情	未成年者の両親には4人の子供がいますが両親ともに病弱であり、収入は安定しておらず、生活保護も受けています。申立人夫婦は結婚して10年になり、甲子に恵まれず、甲子は幼い頃から申立人夫婦になつていたので、甲子を養子として育てたいと考えています。									
申立人の状況	婚姻の日.....平成〇年〇月〇日 未成年者と同居をはじめた日.....平成・令和 年 月 日									
	<table border="1"> <tr> <td>養父となる者について</td> <td>養母となる者について</td> </tr> <tr> <td>子の有無 男 〇 人・女 〇 人</td> <td>子の有無 男 〇 人・女 〇 人</td> </tr> <tr> <td>職業 会社員</td> <td>職業 無職</td> </tr> <tr> <td>勤務先名 〇〇株式会社</td> <td>勤務先名</td> </tr> <tr> <td>収入 月収 約 30万 円</td> <td>収入 月収 約 円</td> </tr> </table>	養父となる者について	養母となる者について	子の有無 男 〇 人・女 〇 人	子の有無 男 〇 人・女 〇 人	職業 会社員	職業 無職	勤務先名 〇〇株式会社	勤務先名	収入 月収 約 30万 円
養父となる者について	養母となる者について									
子の有無 男 〇 人・女 〇 人	子の有無 男 〇 人・女 〇 人									
職業 会社員	職業 無職									
勤務先名 〇〇株式会社	勤務先名									
収入 月収 約 30万 円	収入 月収 約 円									
備考	(特に考慮してほしい事項などを記入してください。) 未成年者甲子の実父母は、この縁組を承諾しています。									
※ 未成年者の法定代理人	住所 〒 - 電話 () () 方 未成年者の住所と同じ									
	フリガナ 乙野 太郎 職業 会社員									
① 親権者	住所 〒 - 電話 () () 方 同上									
	フリガナ 乙野 花子 職業 なし									
親権者でない父母	住所 〒 - 電話 () () 方									
	フリガナ 氏 名 職業									

この申立てをするに至ったいきさつや事情を分かりやすく記入してください。

すでに養子縁組をしている養子がいる場合は、その養子も含めた人数を記入してください。

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分には、当てはまる番号を○で囲んでください。

例えば、父母が離婚した場合の親権者にならなかった親などがこれに当たります。